

UCバークレー戦略的パートナーシップ 国際シンポジウム

# 研究大学における高等教育と 学術研究の将来像構築

Building a Future Vision for Higher Education  
& Academic Research at Public Research Universities

2022年3月22日(火)

午前9時~11時30分(日本時間)

Zoomによるウェビナー

日英同時通訳付

一般公開

参加登録フォーム



<https://forms.gle/zeDeCS9nSxnxPKRg8>

## プログラム

東京大学とUCバークレー校は日米それぞれを代表する国立・州立研究大学です。両大学は相互の研究と学生教育を促進するための戦略的パートナーシップ校であり、研究大学の世界的組織であるIARUのメンバー校でもあります。

本シンポジウムでは、両大学が「高等教育と学術研究の公共性」および「ポストコロナの研究大学像」を中核テーマとして、日米の研究大学の将来像について語り合います。

## はじめに

齋藤毅 東京大学大学院数理科学研究科教授  
「UCバークレーと東大の戦略的パートナーシップの全体像」

## 第1部

研究大学の公共性と  
ポストコロナの大学像

藤井輝夫 東京大学総長  
「多様性の海へ:対話が創造する未来」

Dr. Carol Christ UCバークレー学長  
「UCバークレーの経営ビジョンと戦略計画」

Dr. Benjamin Hermalin UCバークレー教員担当副学長  
「ワールドクラスの教授陣をいかに構築し、維持するか」

五神真 東京大学大学院理学系研究科教授/前総長(ビデオ出演)  
「変革を駆動する大学」

## 第2部

戦略的パートナーシップを通じた  
日米共同研究と  
学生教育

Dr. Dana Buntrock UCバークレー建築学教授/前日本研究センター長  
「COVID-19を乗り越え、再び強い絆を」

藤井聖子 東京大学大学院総合文化研究科教授  
「研究と教育をつなぐ—UC Berkeleyと東京大学との連携に向けて—」

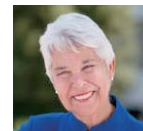
齋藤毅 東京大学大学院数理科学研究科教授  
「大学間国際交流の可能性を探る—数学の場合」

小淵祐介 東京大学大学院工学系研究科准教授  
「クリエイティビティはどこから来るのか—  
創造性教育における日米のアプローチの異同」

福留東土 東京大学大学院教育学研究科教授  
「キャンパスの多様性促進と多様な学生への支援」



藤井総長



Christ学長



Hermalin副学長



五神前総長



Buntrock教授